

# 大阪スマートシティ戦略『次世代型スマートシティOSAKA』の概要

## スマートシティ戦略はネクストステージへ

「大阪モデル」のスマートシティの役割を継承し、さらなる発展をめざす。

役割	Ver.1.0、ver.2.0における取組
府市連携	【大阪府市】スーパーシティ型国家戦略特区を活用した先端サービスの実装と規制改革
広域型	【大阪府】スマートシティの基盤作り×府域全体のDX推進
都市型	【大阪市】大阪市DX戦略に基づくスマートシティ推進

**環境の変化**

- ◆ テクノロジーの進化
- ◆ 社会課題の多様化

ネクストステージ  
Ver.1.0/ver.2.0の取組成果  
急速に変化する環境への対応

## 『次世代型スマートシティOSAKA』の基本方針

これまでの取組実績を基盤として、AIをはじめとするデジタル技術の飛躍的進化を踏まえ、人口減少や超高齢化など多様化・加速化する社会課題に対応し、万博後の未来社会を実現するため、目標年次を2030年とする『次世代型スマートシティOSAKA』実現をめざす。

### 【1】住民QOLの向上

最先端技術を暮らしに実装し、大阪に住む、訪れる人々が、豊かな暮らしや、便利なサービスを楽しめるウェルビーイングな社会を創る

### 【2】都市競争力の強化

万博レガシーを受け継ぎ、副首都に相応しい都市機能を備えるため、AIなど最先端技術を活用し、産業創出力や行政効率に優れ、新サービスを次々と生み出す都市を創る

AIとデータを活かし  
産業と暮らしが共に豊かに発展する  
次世代型スマートシティ

共創による  
次世代型スマート社会への加速



## 基本方針に基づく取組（方向性・例）

府市が連携して“AIとデータを活かし産業と暮らしが共に豊かに発展する次世代型スマートシティ”を実現

【1】住民QOLの向上	【2】都市競争力の強化	【3】共創による次世代型スマート社会への加速
<b>① 健康で豊かな“いのち輝く未来社会”</b> 《取組例》 ● スマートヘルス/PHR ● 福祉分野の取組【介護テクノロジー導入支援、子育て応援等】 ● 健康分野の取組【依存症対策、データヘルス施策展開等】 ● 農業分野の取組【農業DXの推進等】 ● 教育分野の取組【プログラミングコンテスト、AI活用環境整備等】	<b>④ AIとデータの最大活用による次世代デジタルサービスの展開</b> 《取組例》 ● Open Data Platform in Osaka (ODPO) ● オープンデータの見える化【デジタルMAP、タッシュボード】 ● OSAKAデータイノベーションラボ (OIDL) ● AI行政サービスの展開【観光に係るコメント、労働相談(再掲)等】 ● AI産業・サービスの展開【観光に係るコメント、労働相談(再掲)等】 ● AI産業・サービス及び次世代都市型産業・サービスの展開	<b>⑦ 産学官共創によるスマート社会への加速</b> 《取組例》 ● 大阪スマートシティパートナーズフォーラム (OSPF) ● 大阪府行政AIエージェントコンソーシアム ※再掲 ● OSAKAデータイノベーションラボ (OIDL) ※再掲 ● 大阪デジタルインフラ協議会 ※再掲 ● スーパーシティ型国家戦略特区
<b>② 誰もが安全で安心な暮らしができる“セーフティ社会”</b> 《取組例》 ● 災害時における避難所運営の効率化 ● おおさかユニバーサルデザインマップ ● ビッグデータを活用した渋滞対策 ● 南河内新モビリティプロジェクト ● AIを活用した労働相談体制の強化	<b>⑤ 次世代デジタルサービスの発展に向けたデジタルインフラの充実</b> 《取組例》 ● 大阪デジタルインフラ協議会 ● データセンター整備 (郊外DC、都市型DC等) ● 通信インフラ強化 (無線基地局、光通信網、IX等) ● 電力インフラ最適化 (送配電、GX等) ● 成長特区税制の支援対象の拡大 (先端的な基盤技術の追加)	<b>⑧ 国・自治体共創によるスマート社会への加速</b> 《取組例》 ● 大阪府町村スマートシティ推進連絡会議 (GovTech大阪) ● 自治体データ連携基盤共用化研究会 ● スーパーシティ型国家戦略特区 ※再掲 ● 南河内新モビリティプロジェクト ※再掲
<b>③ 行政サービスが便利な“住民ファースト社会”</b> 《取組例》 ● AIエージェントによる行政手続 ● my door OSAKA ● 公金収納事務のキャッシュレス化 府庁・市町村のDXやスマートシティ事業の強化等を通じ、府民や企業への行政サービスの高度化、住民QOL及び利便性の向上 《取組例》 許認可・立入検査/指導監査等業務DXプラットフォーム	<b>⑥ 持続可能なデジタル社会を支えるレジリエンスの強化</b> 《取組例》 ● ORDENガバナンスサポート懇話会 ● サイバーセキュリティ (SOC整備の検討等) ● デジタル専門人材 (獲得・育成) ● 首都機能バックアップ (システム面) AIの利活用に際しては、医療や金融取引など「より正確性が求められる領域」・AI予測やアイデアの創出などより柔軟な発想が求められる領域」等を区別して、コンプライアンス・セキュリティに関して十分に対策を実施	<b>⑨ 住民との共創 (住民参加) によるスマート社会の実現</b> 《取組例》 ● デジタル技術による住民参加型スマートシティ (デジタル民主主義・合意形成研究会) ● オープンデータの見える化【デジタルMAP、タッシュボード】※再掲 ● OSAKAキッズプログラミングコンテスト ※再掲

※下線部は、特に住民の利便性向上に資するスマートシティ戦略部による取組例  
※一部事業については今後想定される取組内容を記載

1) 住民QOLの向上	2) 都市競争力の強化	3) 共創による次世代型スマート社会への加速
● 大阪府で生活、経済活動を行う多様な人々が、健康で豊かに (いのち輝く未来社会)、安全・安心に (セーフティ社会)、便利に (住民ファースト社会)、暮らせるまちをめざす。 例 > デジタル技術の活用によるライフステージに応じた子育て・教育・福祉などの行政サービスのスタイルの変革 > AI・ビッグデータ等を活用した公共施設の機能維持・向上 > デジタル技術を活用した防災・減災のための対策	● 市民・企業・訪学者へ新たな価値・サービスを提供できるよう、都市機能の高度化をめざす。 ● データセンター等デジタルインフラの整備を促進し、AIとデータを最大限活用したまちづくりを進める。 例 > 庁内業務のプロセス最適化による業務の生産性・効率性の向上 > GXの推進による持続可能な社会への取組 > ビッグデータを活用したデータ駆動型のまちづくりの推進 > 自動運転バスの社会実装に向けた官民の取組	● 地域が主体となり、行政とともに、地域の活性化に取り組む。 ● 産学官の連携により、社会課題の解決やイノベーションの創出に取り組む。 例 > 地域が主体となって進めるまちづくりをデジタルでサポート > オープンデータの充実による事業者等のデータ活用の推進 > 地元の大学・研究機関、事業者等との連携

上記の取組の実現に向け、『次世代型スマートシティOSAKA』の実践戦略として大阪市DX戦略をアップデートしながらさらに推し進め、大阪府で生活、経済活動を行う多様な人々がそれぞれの幸せ (Well-being)を実感できる都市への成長・発展をめざしていく。

## これまでの取組実績を踏まえた大阪市DX戦略の3つの視点による今後の取組の方向性

